



題字 埼玉県立松山女子高等学校 3年生 松本 花菜 様

議員提案

埼玉県

令和6年10月18日施行

こども・若者基本条例

ができました!

この条例では

こども・若者が、自分で考え行動でき、自分らしく健やかに成長できる、そして、保護者・養育者やこれからこどもを養育しようと思う方々も、子育てに希望や喜びを感じられる社会の実現を目指します。

条例の詳細はこちら▶



大切にしている4つの考え方

POINT
01

こども・若者のさまざまな権利を守ること。
・自分らしく生きる ・差別されない
・自分の意見を言える など

POINT
02

こども・若者にとってもっともよいことを考えることが広まるようにしていくこと。

POINT
03

こども・若者を安心して養育できるようにして、保護者・養育者やこれからこどもを養育しようと思う方々が幸せに過ごせる環境をつくること。

POINT
04

社会全体でこども・若者の成長や子育てを支えていくこと。



これらの考え方を踏まえて



◆埼玉県ではこども・若者、保護者・養育者そのほか多くの方の意見を生かし、こども・若者の成長や子育てを支える「こども計画」を作り、国や市町村と連携して取り組みを進めていきます。

例えば...

こども・若者の方へ

- ・自分がどのような権利を持っているのか分かるようにします。
- ・いろいろな危険から守ります。
- ・安心して過ごせる居場所づくりを進めます。
- ・体や心が健やかに成長するために大事な知識を学べるようにします。

保護者・養育者の方へ

- ・妊娠、出産、子育てに関する支援を切れ目なく行っていきます。
- ・お仕事をしながら子育てもできるような環境を整えます。
- ・子育ての制度や取り組みの情報を収集・整理し、分かりやすく提供します。

県民の方へ

- ・こども・若者が持っている権利を皆さんに知ってもらう取り組みを進めます。
- ・こども・若者の成長や子育てに優しい社会づくりを理解してもらう取り組みを進めます。

主な内容

1面

- ◇埼玉県こども・若者基本条例ができました!
- ◇9月定例会の動き
- ◇議決の概要

2・3面

- ◇一般質問
- ◇意見書
- ◇県議会広報ラジオ番組・テレビ番組
- ◇県議会クイズ **プレゼント付き**

4面

- ◇委員会レポート
- ◇決算特別委員会を設置
- ◇議員政策研修会を開催
- ◇「シェイクアウト埼玉」を実施しました!
- ◇大学生と県議会議員との意見交換会を初開催

会派別所属議員数 令和6年11月6日現在

会派名(略称)	所属議員数
自 民	57人
民主フォーラム	11人
公 明	9人
県 民	7人
共産党	3人
改 革	1人
無所属	3人
計	91人(欠員2)

9月定例会の動き

9月25日(水)から10月16日(水)までの22日間にあたり開かれました。

9月25日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

10月1日・2日・3日・4日・7日 一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議がなされました。(2・3面)

10月9日 常任委員会

補正予算・条例などの議案および請願の審査などが行われました。(4面)

10月10日 本会議

知事追加提出議案(補正予算)について、知事から提案説明が行われました。急を要する議案のため、同日に採決が行われました。

10月11日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。(4面)

10月16日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

議決の概要

●知事提出議案

- 令和6年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算補正額 50億1,156万2千円
・県立特別支援学校に通学する医療的ケア児の通学支援の充実に要する経費
・新生児マススクリーニング検査の対象拡大に要する経費
・公共事業の追加、適正工期の確保に要する経費
- 埼玉県児童相談所設置条例の一部を改正する条例
など13件を可決、そのほか2件を継続審査、23件に同意

●議員提出議案

- 埼玉県こども・若者基本条例
- 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律に基づく基本計画の早急な策定等を求める意見書
- 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- 重度障害者の住まいの場の整備に係る財政支援の強化を求める意見書
- 保育の公定価格における不公正な地域格差の早急な解消を求める意見書
など11件を可決

議案別会派別表決状況はこちら▶



議案一覧はこちら▶



県議会マスコット「ポッポ」

